

波報 なみおくに

町の人口

4月末現在

総人口 5,719人

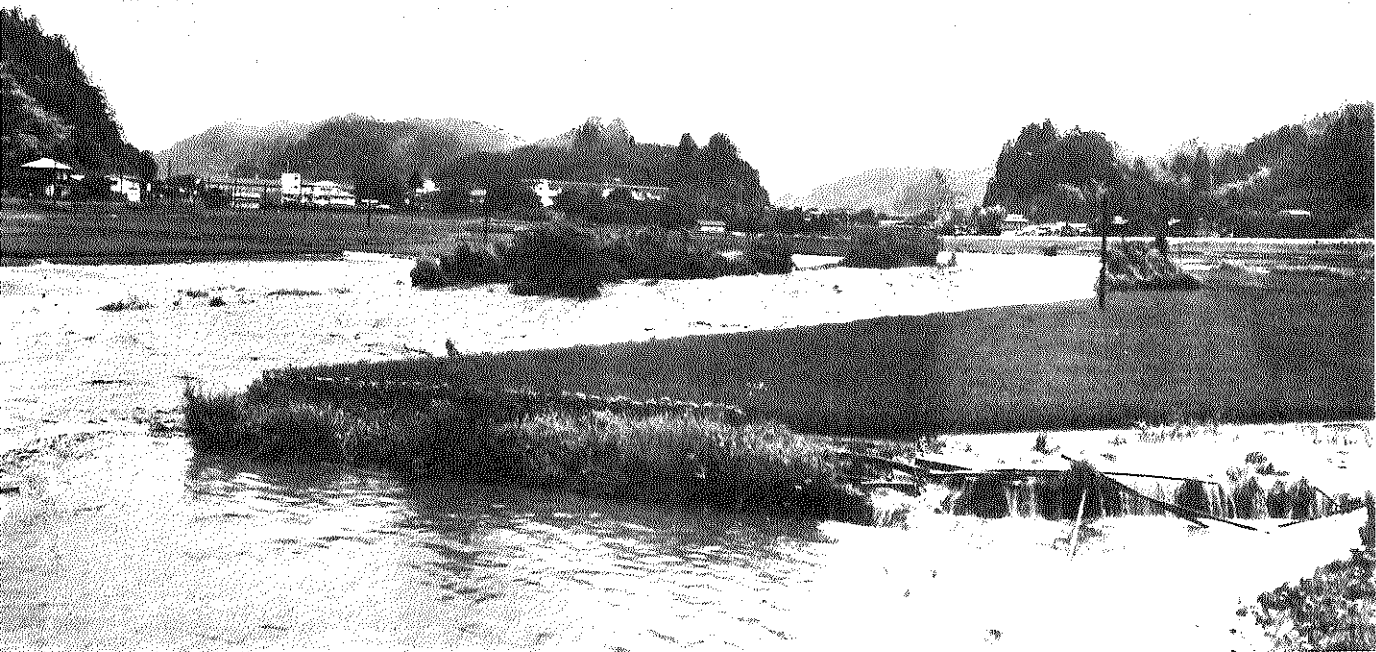
男 2,734人

女 2,985人

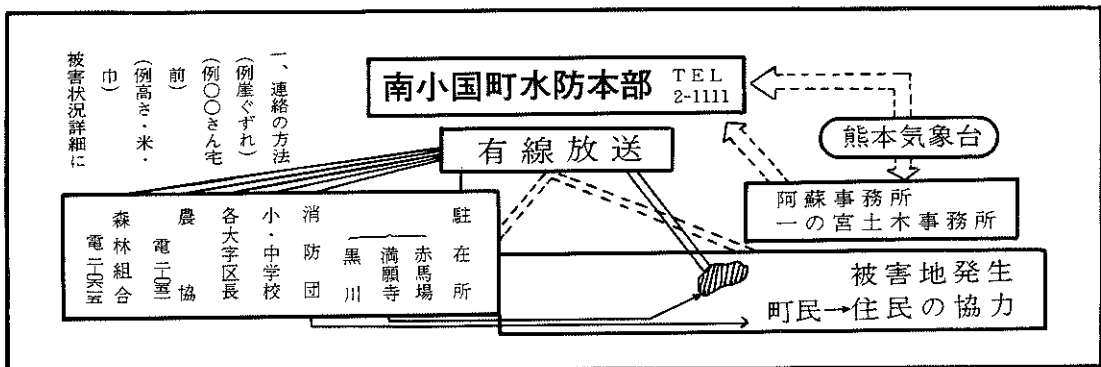
世帯数 1,368戸

No.139

発行 南小国町役場 TEL 2-1111 印刷 白木印刷(株) TEL 62-1255



6月号/50



第二回少年剣道招待

南小国大会開催さる

去る五月四日(日)南小国町少年剣道クラブ主催、県剣道連盟、熊日小国支局後援により招待剣道大会が市原小学校体育館において各小中学生三十三チームが参加して行なわれた。この日はあい憎の小雨まじりであったが参加チームは阿蘇郡内一円と浜町小、中学校や泗水中学校、それに大分県の小、中学校、日田市(芳剣)(光岡剣)等の多数の参加で招魂祭の前日祭として盛あがりを見せ、団体、個人戦とも白熱戦を展開した。



招魂祭

昨年より招魂祭式典を5月5日(子供の日)に実施することがとりきめられ、今年度も中央公民館において戦没者御遺族を始め来賓、関係者多数の参列の中に厳粛に取り行なわれた。

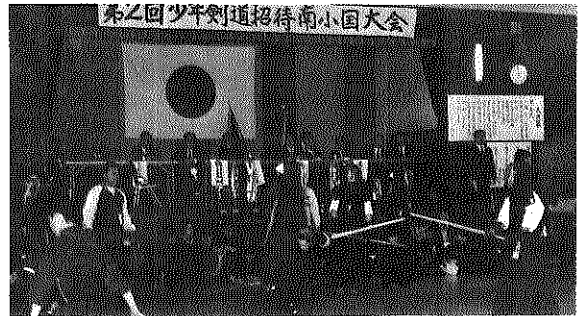
この日は午後より町内の仮装行列、又お仮屋前で植本市等も行なわれ、式典に色をそえた。

団体戦 ▲小学校の部①浜町小 ②高森小③三芳剣(大分県日田)
▲中学校の部①浜町中②泗水中③白水中
個人戦 ▲小学校女子の部①山本光代(市原)②今村香代(久木野小)③今村ゆかり(同) 泉千穂(市剣)▲高学年の部①池部浩二(日田三芳剣)②志賀勝彦(同)③坂田利文(久木野) 黒川祐三(阿蘇錬成館)▲同低学年の部①岩下明(高森小)②井手智行(浜町小)③園田直治(碧水小) 麻生雄治(大分三重小) ▲中学校女子の部①和田ひさ子(芳剣)③田崎博子(光岡剣)▲同男子の部①井手道信(浜町中二年)②北誠一郎(南小国中三年)③佐竹靖文(南小国中一年)

議会便り

昭和五十年南小国町第三回臨時議会が去る五月十三日開催され、次のとおり決定しました。

議長 河津 検
副議長 加賀 康美
総務委員長 石橋 文侍
総務副委員長 北里 智治
総務委員 児玉 喜晴
井 金行
加藤 治嘉
日野 一誠
長谷部広雲
河津千代喜
佐藤 忠毅
宇都宮繁義
井 光一
経済委員長
経済副委員長
経済委員



農協便り

次の通り農協理事が選出されました。

理事 宇像 良造(50才) 地蔵原
河津 順造(66才) 湯田下
佐藤 満春(47才) 扇
井 益雄(48才) 白川
高村 秀幸(45才) 志津
下城 信朝(40才) 落見
黒川 久夫(61才) 黄川
河津 保雄(51才) 千光寺
高村 透(63才) 陣内
宇野 正之(68才) 脇戸
監事 中村 次雄(53才) 上町
下城 信吾(67才) 志津下
輿馬 盛雄(52才) 和田下

文教建設委員長 河津 検
文教建設副委員長 藤里 惟喜
文教建設委員 輿馬 司
加賀 康美
文建設委員 齊藤 徹三
井 益雄
穴井 豪
監査委員 穴井 豪
(議会選出委員) 井 益雄
小国町外一ヶ町共有財産組合 議員
輿馬 司 北里 智治
河津千代喜 宇都宮繁義
石橋 文侍 穴井 豪
小国町外一ヶ町公立病院組合 議員
児玉 喜晴 齊藤 徹三

台風に備えて

今後の長期気象予報

昭和五十年五月二十日
福岡管区気象台発表

梅雨期の天候は変動が大きく、梅雨前線の活動は後半に活発となり大雨が降るおそれがあります。梅雨明け後は暑い本格的な夏の天気となります。今年の台風の発生数は現在までわずかに個ですが、六月から八月にかけて本土に接近または上陸する台風は一、二個の見込みです。

〔六月〕梅雨入りは平年(六月七日)より、や、早くなりますが、梅雨前線の活動は弱い方で、中旬にかけて移動性高気圧におおわれ晴れる日が多く中休みが現われましょう。中旬末から下旬にかけては寒気が南下し、梅雨前線の活動が活発となり大雨が降るおそれがあります。

〔七月〕上旬には一時的に太平洋高気圧が強まり晴れる日もありますが、中旬には再び梅雨前線の活動が活発となり局地的に大雨が降るおそれがあります。梅雨明けは平年(七月十九日)より、遅くなりそうです。その後は暑い夏らしい天候となります。

我れらが研究データ (その2)

日 隈 国 晃

橋 本 桂 典

私の「保残
木育成による
大径木生産に
ついて」の動
機を申します
と、昭和38年
私が高校を卒
業致しました
年の秋に父が
以前から計画

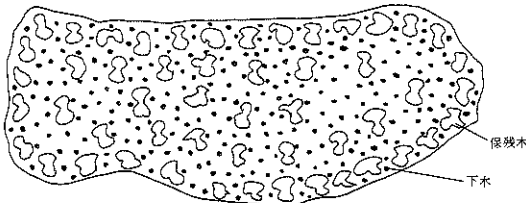


をしていた住宅の新築をする事になり、木材の方は自家生産材を使用する事に致しました。その当時、私の部落ではまだ柁柱を使用する者があまりなく、珍しい頃でありました。

幸いにして、家の山に当時胸高直径71.7cm、樹高28m程のアオ杉がありましたので、その木を3本伐採致しました所、無節の柁柱が56本程生産され非常に貴重な事になりました。これに私も感銘し今後主伐を行なう様な時は、必らず何本か良好な木を保存しようと思いました。

それからすぐに、新築資金として20a程主伐をする事になりましたので、その内から56本を残木として保存する事に致しました。20aに56本という本数は多い様ですが、当時は周囲が原野でありましたので、防風の為に林縁に多く残してあるからであります。

表6 保残木の配置図



〔説 明〕

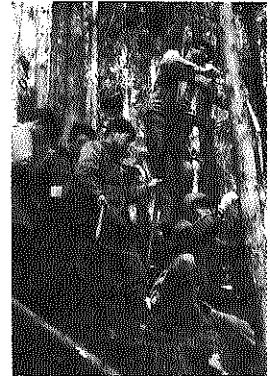
これが保残木の配置図で、現地の平面図であります。この大きい方が保残木で56本あり、この様に林縁に多く残してあります。小さい方が下に植えてある杉で、大体この様になっています。

◎この保残木56本を10年間の比較をすると次の様になりました。

〔保残木56本の比較表(48年9月現在)〕

1本当 調査年度	平均胸高 直 径	平均樹高	平均材積	56本の 総材積
S 38 年	33.7cm	20.0m	0.750m ³	41.97m ³
S 48 年	43.3cm	22.0m	1.278m ³	71.56m ³
1年間の 成長量	0.96cm	0.2m	0.053m ³	2.959m ³
10年間の 成長量	9.6cm	2.0m	0.528m ³	29.59m ³

問題は、如何にすれば有利に、しかも高価に間伐材を販売することが出来るかということでした。間伐材を有利に販売するには、良質材であることが一番必要なことはすぐに判りましたが、どうすれば良質材がとれるのかいろいろ迷っていました。



丁度、そういう時期に44年の1月でしたが、林研主催のシボ丸太の講習会が開催されたので、飛び立つ思いで参加しました。そして早速、資料のプリントを片手に自分の山の、わりあい完満通直な適木2本に巻きつけてみました。

しかし、その夏には、針金がバラバラに切れ当木も抜け落ちてしまって、最初の試みは完全に失敗でした。原因は針金の種類と太さでした。講習会では20番の生針金ということでしたが、雨の多かったせいもありますが、さびて切れてしまったのです。

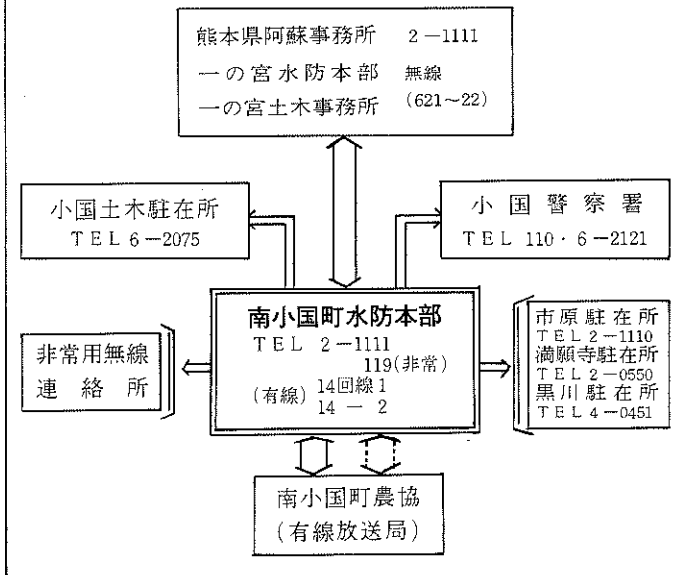
翌年の3月には、針金を亜鉛引の20番線に変えてやってみました。その結果は巻き始めと終りにはシボが入るが、中間には入りにくいことがわかりました。そこで46年の3月、四国の久万林業を林研で視察し、丁寧な枝打ちをすること、針金を一度殺して使うこと、それに当木の長さは短長入れ混ぜること等、いろいろ勉強になりました。また、針金は亜鉛の16番でも、工場で生産されたままのものでは伸びて型が付きにくいことが判りました。

そこで、帰るとすぐに針金を1.5kgに切り、端を固定し軽トラックで引張ってみたところ、3~4mも伸び、針金を殺さなければならない理由がよく判りました。

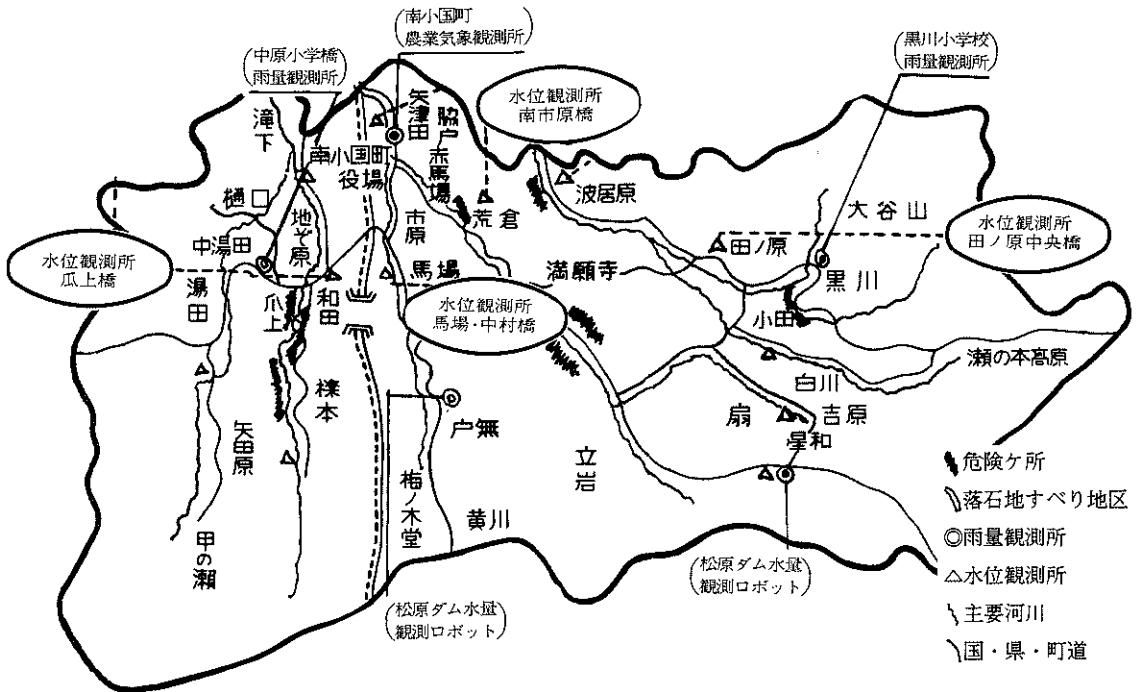
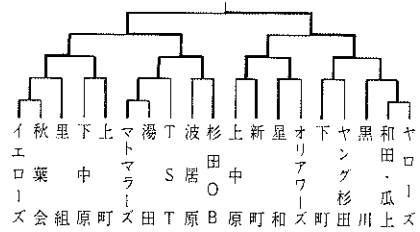
このようにして、殺した針金を使い生長の鈍い吉野杉の実生の適木10本に3月に巻きつけ、その年の10月に半分の5本を切ってみたところ、相当のシボが出来ていました。しかし欲をいえば、少々型が浅く、又、2年置けば入り過ぎる等、太りの良し悪しにより、当木のくい込み具合をみて、巻いて置く期間の判断をしなければならないことが判りました。

伐期は、私どもの小国地方は10月5日前後が適期ですが、これまで置けば、くい込み過ぎと思われる場合は、立木のまま針金を解きますと、なめらかなシボが出来るようであります。(次号へ)

水防関係連絡網略図



ナイター野球の戦果はきまる
 去る五月七日より春季選抜野球
 部対抗試合は開幕され19チーム
 により熱戦が展開された。
 戦果は次の通り
 優勝 下町チーム
 準優勝 杉田OBチーム
 三位 新町チーム
 三位 里組チーム



町内観測所の降雨量

観測地名	所管	16日	17日	18日	合計	1時間 降雨量
星 和	九地建	231.1	273.4	443.1	989.6	130
黄 川	〃	192.1	123.9	201.6	517.5	120
役 場	気象台	47	131	178	356	53

このため、事前の対策か又は臨
 機応応的な対策を講ずるのが現状
 ではなからうかと思われまます。
 今後の対策は事前の協議と調査
 を基盤に住民への周知徹底こそ災
 害を最少減にいくため、最大の防
 護策ではなからうかと思ひます。

本町の水害を見てもみますと例年
 同様であります。が支流の末端でも
 あるため、大きな災害は別として
 一度豪雨になれば、たちまち河川
 は増水し、もの、一時間もすれば
 平常に帰ると云うような状態で
 災害対策といはしまして非常に
 困難を期しています。

昭和四十九年度
 水害をかえり見て